12/3~9は 「障害者週間」です

12/3の「国際障害者デー」から12/9の「障害者の日」までの「障害者週間」は、広く障がい福祉の関 心と理解を深めるとともに、障がいのある方があらゆる分野の活動に参加する意欲を高めることを目 的としています。

ここでは、障がい者等用駐車スペースとヘルプマークについてご紹介します。

障がい者等用駐車スペース

多くの方が利用する公共 機関や商業施設などには、駐 車場に障がい者等用駐車ス ペースが用意されているこ とがあります。こちらの利用 対象は、車の乗り降りに広い スペースが必要な車いすを 使用する方などです。

必要な方が利用できるよう ご協力をお願いします!

車いすを使用する方などが安全に車の乗り降り ができるように、一般の駐車区画より幅が広く設け られています。

また、安全に移動できるようお店の出入り口付近 に設置されています。

出入り口が近いからといって、必要のない方が駐 車しないようにしましょう。

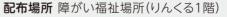


ヘルプマ・

ヘルプマークは、義足や人工関節を使用して いる方、内部障がいや難病患者、妊娠初期の方 など、外見からは分からなくても、援助や配慮を 必要とする方が、周囲に配慮を必要としている ことを知らせることで、援助が得やすくなること を目的としています。

このマークをみかけたら!

電車・バス内であれば席をゆずる、困って いたら声をかける、災害時に安全に避難す るための支援をするなど、思いやりのある行 動をお願いします。





手話に関するパネル展示と 障がいに関わる本の展示

本年12月16日で「石狩市手話に関する基本条例」 制定から10年を迎えるため、これまでの取り組みや本 紙表紙の「みんなで手話!」を紹介し、聞こえないことや 手話、障がいについての関心と理解を深める目的でパ ネル展示と本の展示を行います。

- 2(土)~10(日) 図書館開館時間内
- 所 市民図書館 (花川北7・1)





「仕事を通して、誰かの役に立ちたい!」と日々奮闘する若者を 追いかけるこのコーナー。今回は、黄金山にある推定樹齢1,500 年のイチイの木を見守る樹木医 崎川哲一さんです!

問 秘書広報課☎72・3145

樹木医になりました。 センターが実施する資格審査に合格し、晴れて 守る仕事に憧れ、平成28年には(1財)日本緑化 ワーがあるのか!」と心がふるえたそう。 この強烈な出合いをきっかけに巨木や森を

多くの方に伝えていきたいです」

浮かび上がる巨木に感動し、隣で見ていた観光 が元気づけようと屋久島へ連れて行ってくれまし です。崎川さんがこの職業を意識するようになっ 各が涙を流す姿に「こんなにも人の心を動かすパ た。そこで出合ったのが縄文杉です。霧の中から も宅地となって意気消沈していたところを、父親 たのは中学2年生の時。当時、尊敬する祖父を Lくし、自分が継ぐと信じていた祖父の田んぼ はかつて見た屋久島の縄文杉が重なり、運命の |医の「これは北の縄文杉だ」の言葉に、崎川さん

チイに会いに行くツアーを市内の旅行会社や にご紹介できれば」と、令和元年からは冬のイ 出合いだ――そう感じたと話します。 通して、樹木医としてこれからも自然の尊さを | 20 「0 c k と共同で企画。| このイチイを 「この石狩の素晴らしい宝物を何とか皆さん 浜益の皆さん、自身も関わるNPO法人

いう巨木がありました。同行していた別の樹木 と。足を運ぶとそこには推定樹齢1500年と い」と声がかかったのは、それからまもなくのこ 「浜益の黄金山にあるイチイの木を見てほし

て樹木に関する知識の普及や指導を行う専門家

、樹木の保護・育成・管理などを通し

樹木医

(32歳)

♦ プロフィル ♦

石川県白山市出身。北海道大学農学部森林科学科卒業、北海道大学大学院農学院環境資源学 専攻修士課程修了。石狩市を拠点に行われたNPO法人ezorockの「プロジェクトNINOMIYA」にス タッフとして関わる一方、平成28年に北海道最年少(当時)の25歳で樹木医資格を取得。平成30 年には木製知育玩具を開発・販売する合同会社「森のピタゴラス」の代表に就任。